

2026

8

Vol.15 No.8

GSJ

地球をよく知り、地球と共生する

地質ニュース



8月号

-
- 227 **掘らない水道管腐食度推定システム，市街地で実証実験へ
—水道管の腐食速度に影響する土壌比抵抗を高周波交流
電気探査で迅速に自動測定—**
神宮司元治・梅澤良介
-
- 232 **2025 年度地質標本館イベント「地球なんでも相談」
開催報告**
兼子尚知
-
- 235 **産総研特別公開 2025 における
地質図ライブラリーラボツアー開催報告**
佐藤 努・宇都宮正志・中村佳博・常木俊宏・比田 茜
-
- 238 **地質図ライブラリー 20 年の歩み**
地質情報基盤センターアーカイブ室
-
- 242 **2025 年度の地質標本館スタッフによる館外イベント
への協力活動**
兼子尚知・川辺禎久・中村由美
-
- 245 **リモートセンシング研究グループにおけるドローンを用い
たハイパースペクトルデータ取得技術開発への取り組み**
池田あやめ
-
- 248 **ナウマンの四国地方調査ルート（山田，2011）の修正
—原（2012）への回答—**
山田直利
-
- 250 **第 2 代地質調査所長巨智部忠承の氏名（読み）の訂正**
山田直利
-
- 252 **新人紹介** 赤井 東・菊池瞭平・野田朱美・寒河江皓大・小森純希・阪井康真・
酒井博之・黄 琬惠・平井康裕・寫田将貴・川畑美桜子・菊地一輝・
儀武滉大・篠崎航太朗・Santiago Galicia Edgar・武田 与

地質標本館 特別展

第四紀

The Quaternary

過去・現在・未来を
つなぐ地質時代

2026 6.30(火)~
10.25(日)

第四紀は、約260万年前から現在まで続く地質時代です。この時代には、気候変動や地震、火山噴火といった自然現象が繰り返し起こり、人類の歴史とも深く関わってきました。これらをひも解くことで、今後起こり得る地球環境の変化に対し、私たちがどのように生きていくべきかを考える手がかりが得られます。本展示では、第四紀に起きたさまざまな事象を紹介します。

主催：日本第四紀学会

国立研究開発法人産業技術総合研究所
地質調査総合センター



特別講演会

会場：地質標本館 映像室

8.2(日)

大地に刻まれた痕跡から
巨大地震を探る

穴倉 正展
(地質調査総合センター)

火山灰が読み解く
日本列島の歴史

鈴木 毅彦
(東京都立大学)

入場無料

開催場所：
地質標本館 1 階ホール

開館時間：
9時30分～16時30分

休館日：毎週月曜日、9/5
(休日の場合は翌平日) (臨時休館)

国立研究開発法人産業技術総合研究所
地質調査総合センター

産総研
ともに挑む。つぎを創る。



GEOLOGICAL MUSEUM
地質標本館

〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1
TEL：029-861-3750 <https://www.gsj.jp/Muse/>



GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 中 島 礼
副委員長 戸 崎 裕 貴
委員 宮 崎 晋 行
天 谷 宇 志
草 野 有 紀
宇 都 宮 正 志
山 岡 香 子
大 滝 壽 樹

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第 15 巻 第 8 号
令和 8 年 8 月 3 日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒 305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1
中央事業所 7 群

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : NAKASHIMA Rei
Deputy Chief Editor : TOSAKI Yuki
Editors : MIYAZAKI Kuniyuki
AMAGAI Takashi
KUSANO Yuki
UTSUNOMIYA Masayuki
YAMAOKA Kyoko
OHTAKI Toshiki

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 15 No. 8
August 3, 2026

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1 Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan



「西の富士，東の筑波」と称される筑波山は，日本百名山の一つとしても知られている．この写真は双峰である筑波山の女体山山頂（標高 877 m）から撮影されたもので，右手には男体山（標高 871 m）が見える．筑波山では，標高約 400 m までは主に筑波花崗岩と山麓斜面堆積物，それより上位では斑れい岩類が観察できる．山頂からは，眼下に広大な関東平野，その先には関東山地，そして約 150 km 先には富士山が見える．関東平野の地下には，富士山の標高を上回る 5000 m 以上の深さの堆積盆が存在する．

（写真・文：中島 礼 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター）

The Kanto Plain and Mt. Fuji as seen from the summit of Mt. Tsukuba. Photo and caption by NAKASHIMA Rei